

公募の概要

1 公募の体系

本公募事業スキーム

対応する主な資料

① 小平市南西部地域の市立公園・体育施設・ふれあい下水道館の指定管理者（指定期間12年+10年）
 （市立公園94公園、市民総合体育館、中央公園グラウンド、中央公園テニスコート、上水公園テニスコート、きつねっばら公園子どもキャンプ場、ふれあい下水道館）

② 鷹の台公園の公募設置管理制度（Park-PFI）による整備

③ 中央公園グラウンドの公募設置管理制度（Park-PFI）による改修

- 小平市南西部地域の市立公園・体育施設・ふれあい下水道館指定管理者募集要項
- 小平市南西部地域の市立公園・体育施設・ふれあい下水道館の仕様書

- 鷹の台公園整備及び中央公園グラウンド改修・管理運営事業公募設置等指針
- 鷹の台公園事業要求水準書
- 小平市立中央公園グラウンドの改修整備事業要求水準書

■ 一体的な評価
 評価項目と配点

※①～③の事業を一括して行う一法人（もしくは複数の法人で構成する1グループ）の選定

本公募事業では、小平市南西部地域の市立公園・体育施設・ふれあい下水道館の指定管理者、鷹の台公園の公募設置管理制度（Park-PFI）による整備・公募対象公園施設の管理、及び中央公園グラウンドの公募設置管理制度（Park-PFI）による改修・公募対象公園施設の管理を行う事業者を選定するものです。

事業の背景・趣旨等は「小平市南西部地域の市立公園・体育施設・ふれあい下水道館指定管理者募集要項」第1章をご確認ください。

2 主な対象施設

公募設置管理制度
 (Park-PFI)

※整備後は、指定管理対象施設に含まれる。



① 鷹の台公園整備予定地



② 中央公園グラウンド

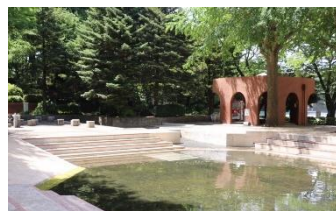
■ 小平市立公園等一覧図（南西部地域）



指定管理者制度



③市民総合体育館



④中央公園

市立公園94公園（鷹の台公園含む）



⑤小平市ふれあい下水道館



⑥上水公園テニスコート



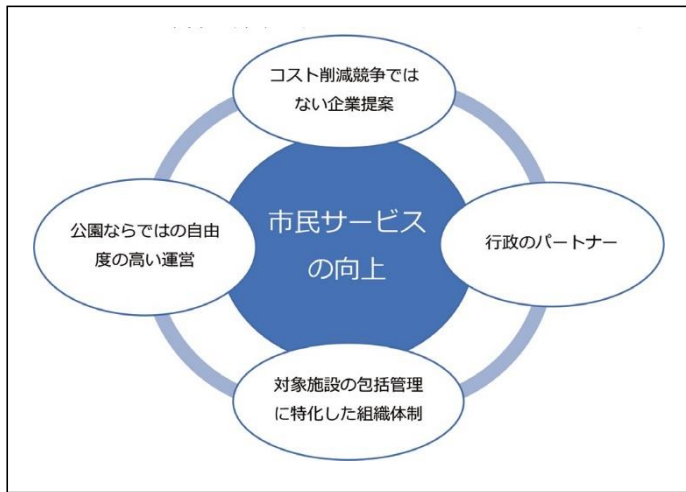
⑦きつねっばら公園子どもキャンプ場

3 評価のポイント

本公募事業では、下記に掲げる項目を特に重視しています。詳細は、「小平市南西部地域の市立公園・体育施設・ふれあい下水道館指定管理者募集要項」第3章-1「指定管理者に求められる能力と役割」をご確認ください。

◆ スケールメリットを活かした管理運営

本事業は、公園の整備に加え、市南西部の複数の多様な公の施設を包括的に管理するスケールメリットを活かし、施設間の相乗効果が発揮されることを期待します。加えて、対象施設を核としたにぎわい創出やコミュニティ形成による地域のまちづくり、及びエリアマネジメントに資する事業となることを求めます。



◆ 地域連携・協働の推進

適切な人材の配置により、地域連携・市民協働による対象施設の管理運営を求めます。これにより、中小規模公園等活用・活性化などの各対象施設の課題解決を図る方策が期待されます。

◆ 本事業の特性を活かした管理運営

施設ごとの位置付けを踏まえた取組のほか、広く環境に配慮した取組が求められます。

また、対象施設の多くは都市公園又は都市公園内の公園施設です。市民サービスの向上のため、設置管理許可制度など都市公園法により認められた制度を活用した事業提案を期待します。

◆ 管理運営を見据えた整備・改修

新設する鷹の台公園は、今の時代に新たに整備する大規模公園として、また、公園が持つポテンシャルを引き出すリーディングパークとして、市の先導的かつ実証的な都市公園にしたいと考えています。

改修後の中央公園グラウンドでは、利用者の利便性の向上やスポーツ振興、及び健康の保持・増進を図るとともに誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境にすることが必要です。

◆ 民間のノウハウを活かした企画提案による自主事業

民間のノウハウを活かした企画提案により、市民サービスを向上させる積極的な自主事業が求められます。

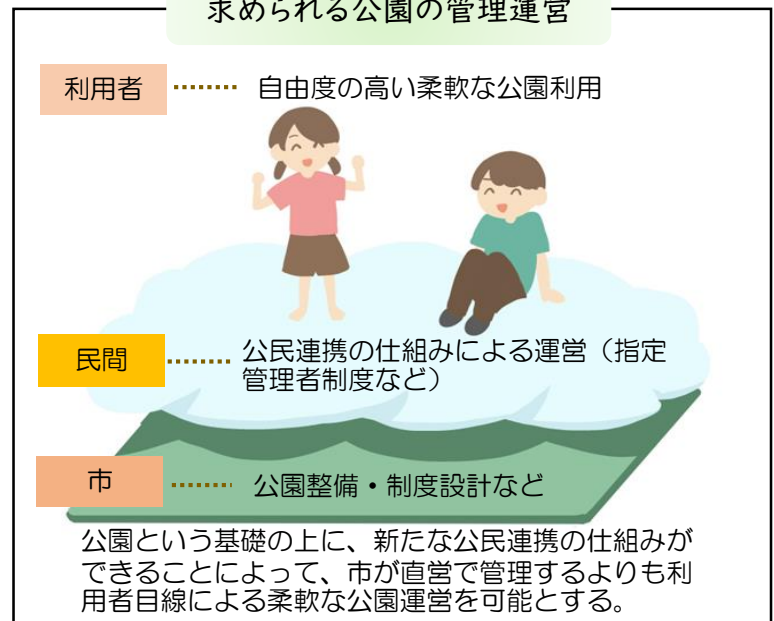
◆ 適切な維持管理

施設利用者、施設・設備の安全管理が最優先です。事故等を防止する取組みを日常的に行うとともに、施設点検・修繕、清掃、接遇、苦情対応、トラブル対応等も含め、公の施設としての適切な管理運営を求めます。

◆ 市の負担軽減に資する管理運営

指定管理期間が長期にわたるため、民間事業者のノウハウを活かし、長期的な視点における管理運営費の抑制を図ることを求めます。

求められる公園の管理運営



【主な参考資料】

- ① 鷹の台公園のあり方調査検討業務委託報告書（令和5年1月）
- ② 鷹の台公園整備事業の基本的な方針（令和5年6月）
- ③ 鷹の台公園整備基本計画（令和6年3月）
- ④ 小平市立中央公園グラウンドの改修に関する基本的な方向性（令和6年3月）